

THE Y S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995

2015~2016年度 No.206

3月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界

強調月間：BF
メネット



那須ワイズメンズク



2月例会 (CS公開講演会例会) 2月23日(木) 於：西那須野教会

2016~2017年度 主題
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子 (川越)
「明日に向かって、今日働こう」
北東部長：長岡 正彦 (もりおか)
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
河野 順子
書記：荒井 浩元
会計：鈴木 保江
担当主事：荒井 浩元
ブリテン：田村・村田

2月例会データー (出席率：100%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 2名
メーキャップ 1名、ゲスト 22名

今月の聖句
…エルサレムから始めて、あなた
がたはこれらのことの証人となる。
ルカによる福音書 48:47~48

東京目黒クラブ 那須クラブ
3月 Happy Birthday
山梨 順子メネット 3/13 田村 修也ワイズ

巻 頭 言

原田 時近

那須ワイズ2月例会は、那須赤十字病院、認知症看護認定看護師の白井愛海氏による「認知症について」の講演であった。現場で働く講師の生の声に教えられること大で、日ごろのご苦労と頑張りにはエールを送りたい。

さて私も、この年までよくぞ守られてきたと自分でも驚く今日日頃、秘かに「自分こそこの機会に学びたい」と出席させて戴いた。会場は同年配の方も多く参加しておられ、仲間を得た心強さを感じた半面、日本の人口の構造的高齢化を垣間見た思いがした。

老いについて、認知症について関心を持つようになったのはいつの頃からか。両親を看取った後、曾野綾子氏の「戒老録」が出版されて一気に“老い”が取りざたされるように思う。少なくとも私にはそうである。

年齢を重ねるにつれ、身心のあちらこちらにホコロビを感じるようになった。どうしても気持ちちは内向きになってしまう。その中、講演から「人は何のために生きるのか」「人は死んで後何処へ行くのか」…と聖書のみ言葉に静まって聞き、目的を示され、一日でも長く健康で社会に喜ばれて生活をする、輝く人生について考えさせられた。頭をもたげ、まだ残された為すべきことを確認し、希望をもってこれに取り組む。誰かが言っていたよう(?)に「老人よ外へ出よう！」

2月例会(地域奉仕公開講座)報告 認知症について

副会長 河野 順子

日 時：2月23日(木)午後6時～

場 所：日本基督教団西那須野教会1階ホール

参加者：メン：河野副会長、村田副会長、原田、鈴木、荒井。メネット：田村、原田。

スピーカー：白井愛海氏、

ゲスト：西那須野教会関係者、聖園ホーム施設長、田村会長関係者他21名



去る2月23日(木)に恒例の医療例会を行いました。今年も昨年と同じ「認知症」についての講話とな

りました。生憎、当日はこの日のために集客に奔走して下さった田村修也会長は、ぎっくり腰に襲われ欠席となりましたが、21名のゲストを迎えることができました。

講師是那須赤十字病院認知症 認定看護師 白井愛海さんをお願いしました。近隣に、家族に、明日はわが身の想いを持った？皆さんは、真剣に聞いてくださいました。例外はありますが認知症は高齢化と大きな関係があります。認知症の有病率では、認知症高齢者全国で約439万人(2012年)：有病率15%、(2014年)では2014年に462万人で2025年には700万人を超える見通し(65歳以上の高齢者の5人に1人)。今後、総人口の減少、少子高齢化の進行に伴い、認知症有病率は上昇することが推測されるということです。認知症について正しく理解して、対応の仕方を学ばねばならないことは喫緊と感じました。「認知症」とは、「いったん正常に発達した知的機能が後天的な脳の器質的障害により、広汎に継続的に低下し日常生活に支障をきたした状態」というのが最も一般的に用いられている認知症の概念であるようです。高齢化した身体の器質的障害は致し方ないと納得しました。急速な高齢化した日本では経験のないことではずです。認知症にはいくつかの種類があるようですが、その中の50～60%を占めるアルツハイマー型認知症は、異常たんぱく質と変性神経繊維の束が出現し、蓄積により脳萎縮を起こすことが原因だそうです。アルツハイマー型認知症には、症状期があるようです。

初期は(1～3年)でこの時期の症状は、

- ・単純な物忘れ → 深刻な物忘れ
- ・昔のことは覚えているが、数分前の事は思い出せない
- ・感情や意欲の障害、性格の変化
- ・料理法が分からなくなる。電気、水道、ガスの消し忘れや閉め忘れが多くなる。金銭管理が不確かになる。同じものばかり買ってくるなど、日常生活に支障をきたすようになるがまだ自立は可能。
- ・見当識障害(時間や場所)
- ・対人関係における礼節は保たれ、日常接することがない人は障害に気づかないばあいもある。

中期(2～10年)

- ・新しい記憶だけでなく、古い記憶も障害
- ・見当識障害(時間・場所→人)
- ・公共料金の支払い、銀行や郵便局でのお金の出し入れ、冠婚葬祭などの付き合い、電話の対応な

どができなかり、日常生活に大きな支障をきたすようになる。

・目的を持って出かけたものの目的を忘れて徘徊
・徐々にADL（日常生活に必要な機能や動き）に介助が必要になり、失禁が生じ自立した生活が困難になる。中期半ばになると、ADL全般に介助が必要になる。

末期（8～12年）

- ・自発性や関心が失われ、言葉の数が減る。
- ・言葉で自分の意思を伝えられなくなる。
- ・話しかけに反応しなくなる。
- ・相手の言葉が理解できなくなる。
- ・歩行が困難になり寝たきりに移行。
- ・嚥下機能が障害され経口摂取が難しくなる。
- ・誤嚥しやすくなる

と、以上進行度合いを3期に分けてある。

これを聞いて、他人事でなく私は初期についてはすべて自分に当てはまる。もうすでに3年以上がこのようであるような気がする。認知症になるとこのような中核症状は誰でも出現するそうだが、この症状を環境（人的・物的・空間）がどう誘導するかが重要だと白井さんは強調した。つまり、認知症状のある人へのコミュニケーションの取り方が大事であるということであらう。基本的に人権を尊重したうえで、出来得ることが多くあるのでそれをうまく引き出すことが大切であるということです。

認知症の人は、誰よりも自分がそれに恐れや不安を持っているという理解が大事であるということです。他者には、「嘘をついている」、「つじつまが合わない」と作り話をするとみられるが、この時には共感し、受け入れた態度で関わる必要があります。

今日からできる認知症ケア としてのまとめ

- ①相手の味方になる（病識を持たせる、反省をさせるといふ非効果的な関わりはしない）。
- ②相手を怒らない（わかってほしいと求めず、人と人として本音で付き合えるという捉え方）。
- ③言葉をたくさん使わない、たたみかけない、分かりやすさが大切（情報処理や全体把握が苦手なことを理解し、言葉を選ぶ）。
- ④言葉だけでなく、表情などやしぐさなども工夫して伝える。（情報を多く、但し多すぎず、手掛かりやヒントを提供する）。
- ⑤穏やかに話しかける。（騒々しい環境を整える）。
- ⑥その人らしさを尊重してかかわる。（認知症だからわからない、認知症は皆同じではなく、誇り

をもって人生を懸命に生き、今に至った人としてかかわる。その人の生きてきた人生に関心を持つ）。

⑦笑顔で接し、笑顔を引き出す。（認知症の人のかかわりを自分から楽しむ。駄目なときでも深追いをしない）。



白井さんは、多くの話題を提供してくださいましたが、時間の関係で以上のような講話でした。白井さんゲストの皆さん、ゲストの皆さんありがとうございました。

2月役員会報告

日時：2月9日（木）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、荒井書記、田村メネット、

協議事項

1. 2月例会の件

CS公開講演会例会とする。日時、2月23日（木）午後6時～、場所、西那須野教会集會室。講師、白井愛海（那須赤十字病院 認知症認定看護師）。演題、認知症を正しく理解しましょう。会費、会員のみ500円。夕食、カレーをYMCAリーダーにお願いする。お米とじゃがいも、村田が準備。お皿とスプーン、村田が購入。司会、河野。チラシ作成、田村、河野。出席者の確定、1週間前に田村。プロジェクターの準備（荒井）。講師謝礼5000円。サラダの準備（河野）

2. 3月例会について

ユースリーダーの活躍報告会。日時、3月24日（金）午後6時～。場所：西那須野教会。報告者6名。

3. 那須YMCAユースリーダー卒業を祝う会について

卒業リーダーにワイズとして記念品を渡す。男子4名、女子7名。記念品は、田村メネットに一任。

4. 3月役員会について

3月3日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて開催する。

協議内容は3月例会、4月例会、その他、プリテンの原稿

5. その他

- ・後期会費納入、2月15日（水）。
- ・年賀切手の収集を行う。
- ・那須YMCAの報告。

今後の予定

・次期クラブ会長及び次期部役員研修会

日時：3月4日～5日

・3月役員会

日時：3月3日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：3月例会、4月例会、4月号ブリテンの発行等。

・3月例会（ユースリーダー報告会）

日時：3月24日（木）午後6時～

場所：日本基督教団西那須野教会集会室

内容：ユースリーダーによる活動報告

ワイズやYMCAの様々な全国的なプログラムが開催されました。これらのプログラムは、ワイズの皆様やYMCAのご協力を頂いております。その感謝をこめて、そこに参加した那須YMCAで活躍しているリーダーたちが報告をさせて頂きたいと思っております。リーダーの情熱を直に感じて頂けたら幸いです。今回報告を行うリーダーの紹介をいたします。

■第47回全国YMCAリーダー研修会

・須江 卓矢（すっちー）

■第4回北東部リーダーズアクト

・橋本 裕翼（もっちゃん）

■日本YMCA大会2016・4年間の総括

・笠間 脩平（しゅうまい）

・滝田 直輝（いもに）

■2016年度リーダー会活動について

・鮎ヶ瀬 葉那（あゆ）

・北見 綾乃（さぶちゃん）

・4月役員会

日時：4月7日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：4月例会、5月例会、5月号ブリテンの発行等。

・4月（植樹）例会

日時：4月29日（土）午前10時～

場所：那須街道赤松林駐車場

内容：植樹、クラフト。昼食後那須疎水の見学

旧西那須野（那須西原）の緑と水（48回）

田村修也

以上の請願と、それに添えた三島県令の内申書を受取った西郷農商務卿は、次のような伺書を、すぐに、三条太政大臣に提出致しております。

「那須原疏水起業及工事経費御支出之儀ニ付伺」
一金拾四万九千七百八拾八円疏水経費総額

内 金拾万円 十七年度御支出請求高

金四万九千七百八拾八円 十八年度同右栃木県下、下野国那須郡東西原野ハ、面積凡一万町歩二過ギ、土性耕耘ノ不適ニ非ズ、山間僻境ニ非ズ、運搬不便ニ非ズト雖モ、独植民必需ノ水利欠乏ノ為メ、往古ヨリ荒蕪ニ擲棄セシメタリ、然テ此水利タル、聊天工ヲ補助スルノミニテ、竣工スベキ旨、県官及移住者等ヨリ頻リニ申立候ニ付、客冬当省掛官派遣、実地調査セシメ候処、那珂川及蛇美川ヨリ分疏水シ得ベキハ容易ノ事業ニ有之候、該原ノ儀ハ、先年ヨリ、既ニ有志者自費ヲ以テ開墾ニ従事シ、客年、原野中僅ニ一小脈流通セシガ為メ、一時ニ五十戸余、農民移住致、且ツ又頃日ハ、国道ヲ原野ノ中央ニ開換シ、加之、鉄道ノ布設モ遠キニ非ザルヲ以テ、移住開墾ノ氣勢盛ンナリト雖モ、皆水利ナキニ猶予シ、移住ノ失敗アランコトヲ顧念セリ、茲ミ於テ、二川ノ水ヲ大疏シ、原野ヲ灌漑セバ、開墾移住諸便ト共ニ時ヲ得、数年ヲ出ズ、荒蕪地余サザルに至ルハ疑ヲ容レザルナリ、抑モ、該水利ノ儀ハ、一昨年猪苗代湖通水式ノ路次、故岩倉右大臣巡視の砌、内決ノ次第モ有之、行政上本分ノ事業ニシテ、国力ヲ増進セシムル要務トモ被存候得者、国費多端ノ際ニハ有之候得共、書面金額御支出、起業相成度、敢テ上請仕候条、伏テ希クハ、非常ノ御詮議ヲ以テ、速カニ御裁可相成度、依之、別紙図面三葉及工費予算等調一冊、県令ヨリノ内申書類写相副、此段相伺候也。

明治十七年五月

農商務卿 西郷従道

太政大臣 三条実美殿

追テ本文該原野ノ儀ハ、移住者ノミニテ、到底民カノ及バザル事業ニ付、一円官費御支出相成度、且シ又工事ノ儀モ、隧道其外精測ヲ要氏シ候間、本省疏水掛直轄起業候様致度、此段添テ相伺候。

那須原疏水工事予算

一金拾四万九千七百八拾八円

内金八万三千百九拾円那珂川疏水工事費

金五万八千九百五拾円蛇尾川疏水工事費

金七千六百四拾円諸雑費

(工事仕様予算細目省略)

明治十七年五月始めに那須東西両原開拓事業者代表と那須郡村、塩谷郡村代表が一丸となって「水路開削ノ儀ニ歎願」を県知事に提出し、県知事は同年五月七日付で内申書を添えて農商務卿と大蔵卿に提出、農商務卿は同じ五月に太政大臣あてに「那須原疏水起業及工事経費御支出之儀ニ付伺」ばかりでなく、国直営で行うことまで伺うところまで、一気に進んだことには驚嘆すると言いか言いがありません。政権の最も中核的な地位にある、しかも相当に権威のある特定の人物が、あらかじめ内密に協議を進めていて、あとは文書による進達が上がって来るのを待つだけでないこのようにはいかなかったでしょう。旧約聖書箴言16章9節に「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる」とあるように、神様の導きと言うしかない程の奇跡を見るようです。しかしながらそれでもまだハードルは高かったのです。

(以下次号へ)

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
理事長・園長 福本光夫

朝、家からの野菜の端切れやリンゴの皮を、羊のえさ箱に入れておくと、登園してきたある年少組のA君が、開口一番「園長先生、いっぺんにあげている」、「どうして?」といました。急いでいたのでとも言えず。「そうだったね」と返す答えに窮しました。確かに羊に餌をあげていたのではなく、箱に入れただけです。その言葉にどきどきしました。私が羊を「私」と「あなた」という人格関係ではなく、「私」と「彼ら」という「人」と「モノ」の関係で対応したことに対して、A君はそれは違う、羊は、「人」と「モノ」の関係ではなく、幼稚園で共に生きている友達、人格関係ではないのかと問われたからです。この1年で年少組の子どもは、「共に生きる」という一番大切なことを身につけました。私自身は少し落ち込みましたが、その素晴らしい成長に感嘆し、「共に生きる」大切さを改めて教えてもらったことに感謝しました。

さて、2月11日(土)に、東京で「すべての子どもが日本の子どものとして大切に守られるために」というテーマの研修会に参加してきました。

認定こども園、児童養護施設、障害児関係から、里親から現状と課題の報告があり、すべての子どもの為に、縦割りのシステムを越えて協働し、インクルージョン(包括)を目指そうという内容でした。本園は4月から児童発達支援センター「シャローム」を開設します。入り口は違いますが、この地域の0歳から小学6年生までのすべての子どもたちが共に育ち合う環境が出来ます。神様から子どもたちに元々与えられている「共に生き・支え合う」という大切なことを持続して行くためにも大切な働きと考えています。民間では栃木県で初めて、幼稚園では日本ではじめてのチャレンジです。(しらゆり2017.2.17より)

最後に、那須YMCAへのお礼と報告をします。那須YMCAには2002年度より、学校5日制に対応する受け皿として、3歳から小学6年生までの地域のすべての子どもたち(しょうがいのある子ども含む)を対象とし、野外体験を主体とした「サタデークラブ」の協力を続けていただいています。子どもたちは学校教育では得られない年齢やしょうがいを越えたインクルーシブな人集団との関係から産み出される得がたい体験をしています。また、子どもたちだけでなく、Yのリーダー達にはプレ親教育にもなっているところです。3月10日に出版される「拡がる地域子育て支援(ぎょうせい)」に本園の実践報告をしました。そのなかで、那須YMCAと協働についても記載させていただきました。ありがとうございます。

社会福祉法人 エルム福祉会だより

エルム福祉会 蜂巢小珈琲店
施設長 川上 聖子
「賜物」

「あなたがたは世の光である。あなたがたの光を人々の前で輝かしなさい。人々があなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」 <マタイによる福音書5章14~16節>

おかげさまで、「hikarino café 蜂巢小珈琲店」は、多くのお客様に来ていただいております。まだまだ、失敗やご迷惑をかけることもあります。職員もスタッフ(障がい者)も少しずつ成長していると思っています。

お客様のInstagramやフェイスブック等を見て、遠方から来店して下さる方も増えてきました。新年早々、1日の最高来店者が145名を記

録いたしました。それはそれは忙しく大変でしたが、「忙しくて、疲れたね。」といいつつ、みんな笑顔でした。

毎週のように宇都宮から来ていただいている方は、「このカフェが私の中のナンバーワンです」と言って、毎回アンケートにたくさんのコメントを残してくださいませ。

来店されたお客様には毎回、アンケートの協力をお願いしております。5段階評価で、現在平均、食事(4.5)提供時間(3.6)お値段(3.0)接客(4.6)の評価を頂いております。接客が4.6はかなり高い評価です。ホールの接客には、職員3名・スタッフ4名で対応していますが、スタッフのたどたどしい説明にも、この点数を頂けるのは、同情からではないと思っています。障がい者支援のカフェと知らずに来られる方も多からず。

先日、当店のシフォンケーキを、職場にもっていきたいと買いに来られたお客様がいました。スタッフが荷物を車まで運んだのですが、後日、そのお客様からメールをいただきました。

「荷物を運んでくださった方との会話の中で『少しでもお役に立てれば』と普通に自然にいわれてビックリ。彼女の優しさと『私はどう役に立っているのだろう』とずっと心に残っています。効率、スピード、見た目を求められた2か月半だったから…。本物の生き方をしたいこうと思います。」と。

もしかしたら、スタッフの純粋な心、目に見えない『賜物』をお客様は感じ取ってくださっているのではないかと思います。

今の時代(スピード時代)だからこそ、コンセプトの「穏やかなひと時を楽しむカフェ」が必要なのかもしれません。この穏やかさは、スタッフ支援にもとても大切なことだと感じています。そして、hikarino café 蜂巢小珈琲店のビジョン「地域の光となり、福祉の光となる」が浸透してきたならうれしく思います。これからも、スタッフの“光”がますます輝きますように。

YMCA 報告

【北東部ユースリーダーズアクト2017を開催しました！】

2017年2月25日、26日の両日、北東部・とちぎ YMCA 主催のユースリーダーズアクト2017が開催されました。25日には、とちぎ YMCA 杯エンジョイドッジボール大会に盛岡 YMCA、とちぎ YMCA のユースボランティアリーダ

ーが被災した福島県南相馬市と宮城県多賀城市のチームを含む30チームのサポーターや大会運営支援を行いました。その夜は、盛岡ととちぎのユースがとちぎ YMCA の施設「わいわい道場宿」に泊まり、お互いの交流を図りました。

2日目には、場所を変え、藤井産業株式会社本社にて「福島の子どもたちと一緒に笑顔！」をテーマとしたフォーラム『みらくるプロジェクト』を開催しました。ユースリーダー21名、一般の高校生・大学生18名にワイズを含む総勢58名が「今、私たちにできること」を話し合いました。午前中は、宇都宮大学の中村教授、宇都宮大学のUP(宇大生プロジェクト)の小原代表、福島県南相馬市で活動しているLLO(Live Lines Odaka)の4人の男子高校生の講演を聞き、午後からグループで話し合いを行いました。

今回の運営はユースボランティアリーダー及びユーススタッフ有志で取り組みました。ユースエンパワーメントのうねりをとちぎより発信していきたいと思います。このイベントの開催にあたり、北東部、北東部各クラブ、東日本区、東日本区メネット会からご支援をいただきました。ありがとうございます。



【2/22はピンクシャツデー！YMCAがピンクに染まりました！】

社会全体がいじめに対して高い意識を持ち、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者」にならないことが、いじめられている子どもを救うことになると私たちは考えます。公平で平和な世界の実現を目指すために、私たちはその第一歩を踏み出します。これをきっかけに、いじめについて一緒に考えてければと、YMCAでは2/22にピンクシャツデーを行いました！

とちぎ YMCA では、那須 YMCA、さくらんぼ幼稚園、宇都宮市青少年活動センターなどをはじめ、様々なところでピンクシャツデーに賛同し、



ピンク色のシャツや飾り物など、YMCAがピンクに染まり、ほんのり暖かい気持ちになりました。那須 YMCA では、

西那須野幼稚園学童クラブの子どもたち、サタデークラブの子どもたち、英会話クラスの子どもたち、那須ワイズメンズクラブの方々、那須YMCAリーダーたちなどがご協力頂きました。

【認定こども園さくらんぼ幼稚園の新園舎献堂式・内覧会について】

さくらんぼ幼稚園は新たに認定こども園としてより広くお子様をお預かりできる施設として邁進することと相成りました。つきましては、上記により、内覧会を催します。ご多用とは存じますが、皆さまぜひ、お越しくださいませ。

学校法人 宇都宮YMCA学園
理事長 青木 敬信

日時：2017年3月18日（土）

献堂式 10:30～11:10

内覧会 12:30～14:30

【とちぎYMCA・那須YMCAの3月・4月上旬の予定】

- ・3/4（土） サタデークラブ@宇都宮動物園
- ・3/5（日） 那須YMCA卒業リーダーを祝う会@那須YMCA
- ・3/11（土） サタデークラブ@宇都宮動物園
- ・3/11（土） 揚がれ！希望の風2017 宇都宮会場・足利会場
- ・3/12（日） Yキッズ@アクアワールド大洗水族館
- ・3/13（月）～3/15（水） 北関東YMCAスキーリーダートレーニング（荒井・リーダー3名が参加）
- ・3/18（土） 認定こども園さくらんぼ幼稚園献堂式・内覧会@さくらんぼ幼稚園
- ・3/27（月）よりスプリングプログラム開始（3プログラム）
- ・4/3（月） 就業礼拝
- ・4/8（土） とちぎYMCA職員歓送迎会@宇都宮YMCA

ユースリーダーのつぶやきコーナー

1. 名前（リーダー名）2. 学校名3. 出身地4. YMCAに入ったきっかけは？5. 思い出に残った活動とその理由は？6. 今後の進路は？7. YMCAに一言

1. 笠間脩平（しゅうまい）
2. 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科
3. 群馬県前橋市
4. 子どもに関わるボランティアをしたかった事がきっかけです。

5. 思い出に残った活動はフォーラムです。フォーラムでは東日本のYMCAの中から主にユースが集い、「今、リーダーに求められていること」をテーマにグループで沢山話し合いました。話し合いを進めていく中で、周りのリーダー達が自分達の活動やキャンプについて自信気にそして楽しそう



に話っていました。このグループタイムが経験の浅い自分にとって、とても刺激になり、「もっと活動してみよう」とか「チャレンジしてみよう」という気持ちになり、今

YMCAの活動を楽しめてる原点になっています。また、話し合いを通じて価値観も広がり、1人の人間としての成長にも繋がりました。

6. 今後の進路はとちぎYMCAの「マイホームきよはら」でお世話になります。最初はマイホームきよはらですが、行く行くはリーダー経験を生かせるよう、様々な仕事に携われたらと思っています。
7. 今後ともよろしくお願いします。



1. 滝田直輝（いもに）
2. 国際医療福祉大学医療福祉・マネジメント学科
3. 山形県西置賜郡白鷹町
4. 掲示板に貼られたポスターを見て興味を持ち、

説明会を聞いて入ることを決意しました。

5. 大学一年生の時の夏のキャンプです。理由としてグループに馴染めなかった子供に対して何もフォローできず泣かせてしまい、自分のリーダーとしてももっと成長しなくてはならないことを自覚できたからです。
6. 特別養護老人ホームマイホームきよはらに介護職員として働かせて頂きます。
7. YMCAのリーダーとして沢山のことをまなばせて頂きました。学んだことや学ぶ心を忘れず、これからも精進していきたいと思えます。

ひろくを救う会

・那須ワイズメンズクラブとして50,000円の献金を2月28日に行いました。会員の方々のご協力いただける方があれば3月例会で徴収させていただきます。一日も早く目標額が達成とひろ君の手術の成功を祈っております。

2017年度

那須ワイズ4月植樹例会のご案内

2011年3月11日の東日本大震災から6年目を迎えます。風化させない、忘れないで、更なる復興を祈り続けましょう。防災のため地球温暖化防止対策のために植林が進められています。

あなたの手で 緑を育てませんか

4月恒例の植樹例会を下記により実施いたしますので、お誘い合わせの上ご出席下さるようご案内いたします。小雨決行ですが、晴天になるように今からお祈り下さい。

1. 月日 2017年4月29日(土曜日) 現地集合(那須街道赤松林入口の駐車場に10時までに集り下さい)

(植樹等実施予定地は2016年秋に実施した所の隣接地付近です)

2. 行先 那須街道「赤松美林」 塩那森林管理署指定植林地
3. 内容 植樹等・歩道清掃と那須野が原開拓・那須疏水史跡巡り
4. 行程予定

タイムスケジュール	内 容
10:00	「那須街道赤松美林」着
10:30	赤松苗木の植え付け等
12:00	昼食・赤松美林周辺散策と歩道清掃
13:00	那須野が原開拓と那須疏水史跡探訪
14:00	現地解散

5. 費用 必要なものは各自負担
6. 装備 個人装備：雨具、手袋(軍手)、タオルなど
7. お弁当、飲み物、おやつ等はお忘れなく
8. その他 必要と思うもの

9. 参加者は全員保険加入をいたします

10. 塩那森林管理署のスタッフの皆様には今回も大変お世話になります。苗木・唐鍬等用具は森林管理署で準備して下さいます。

※那須ワイズメンズクラブ会長田村修也 担当田村修也 ※全員保険に加入いたしますので、ご参加の方は田村(090-5545-6763)宛、4月25日(火)までにご連絡お願いいたします。